

アブラムはしゅをしんじた。

そうせいき 15・6

きょうのおはなしをきいてどちらのえがただしいかえらびましょう。
ただしいほうにいろをぬってね。

① ^{あぶらむ}アブラムと いっしょにひっこしたひとは？



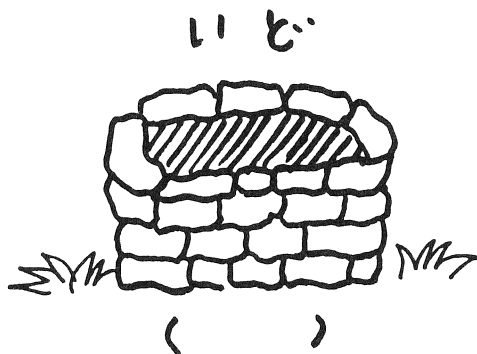
② ひっこしかおわって ^{あぶらむ}アブラムはなにをしましたか？



アブラムはしゅを信じた。

そうせいき 15・6

あぶらむ
 アブラムにあたえられるとかみさまがやくそくしたものは
 どれでしょう。したのえからえらんでね。()に〇を
 しましう、



☆ アブラムはかみさまのやくそくを信じましたか。

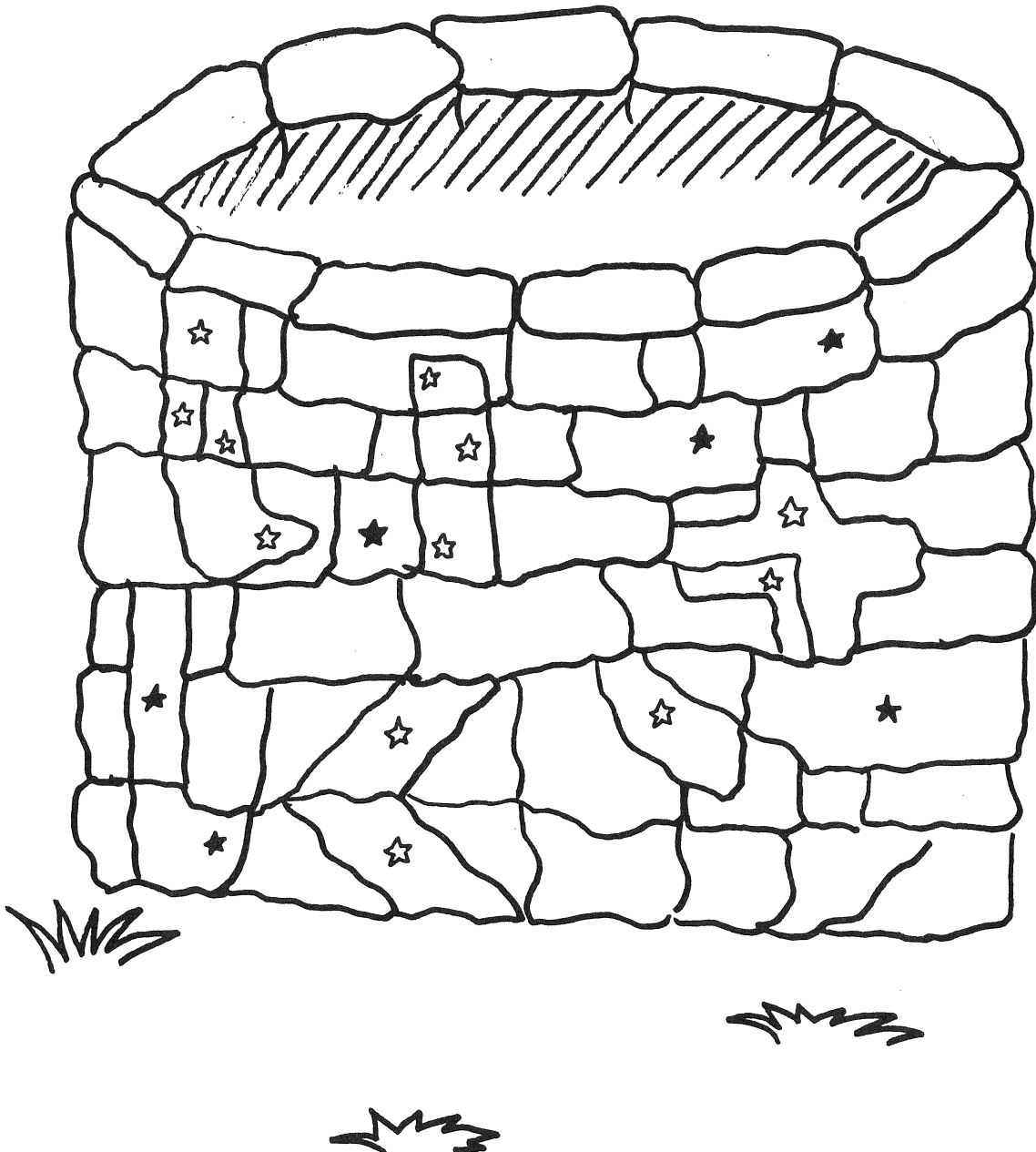
() 信じた

() しんじなかった

アブラムはしゅをしんじた。

そうせいき15・6

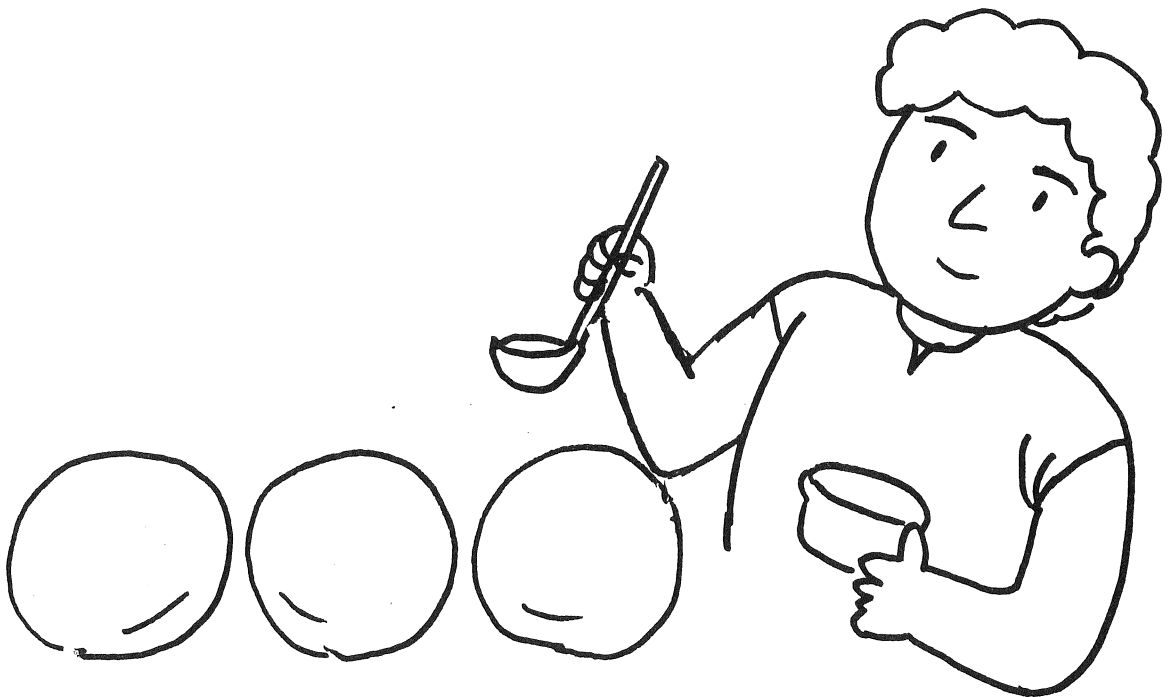
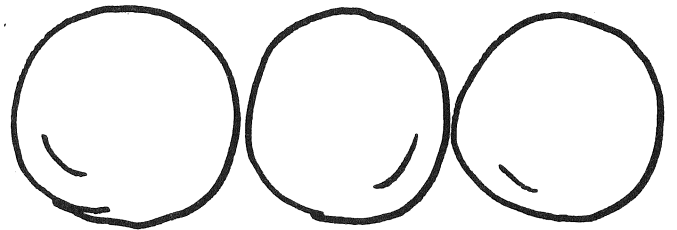
かみさまにしゅくふくされたひととはだれでしょう。
☆のところにいろをぬりましょう。まちがえて★をぬっては
だめですよ。



アブラムはしゅをしんじた。

そうせいき15・6

かみさまがえらんだひとはどちらのひとですか？

れんずずまめになまえをかきましょう。

しゅはかれのなすことをさかえさせ
られた。 そうせいき39・23

てん



ヤコブのみたゆめは

てんのつかいかどうしていましたか？

したのてんしをふといせんできりと

はしごのふといせんにきりこみを

いれて、てんのつかいをうごかして

みましょう。



A

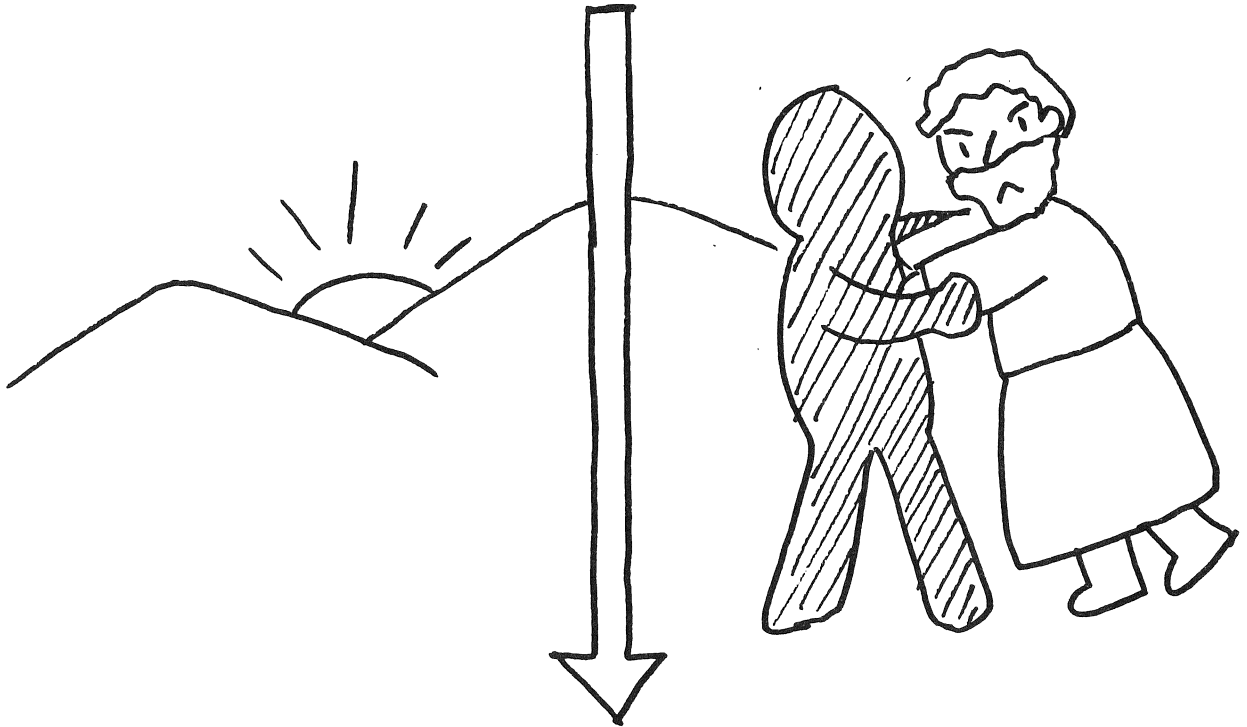
1 1 / 1 1

かみ かお
神の顔

しゅはかれのなすことをさかえさせ
られた。 そうせいき 39・23

てんのつかいとよあけまでくみうちしたひとのなまえは？
そのひとはなんというなまえにかわりましたか？ したのじからえらんで
□にかきましょう。

--	--	--

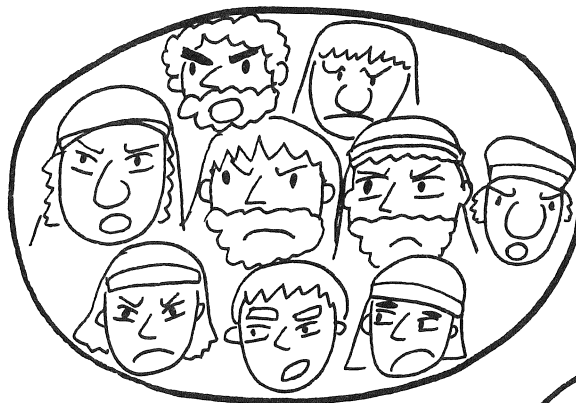
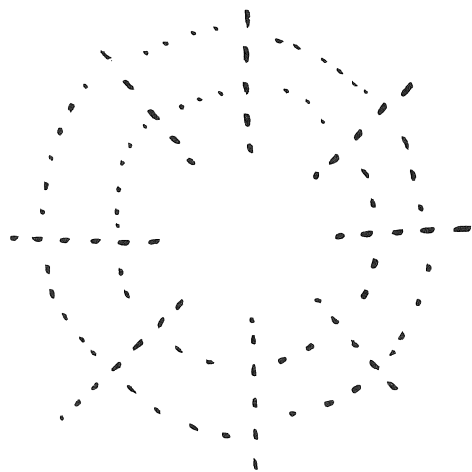


--	--	--	--	--

やすらこえいぶる

A 11/18 ヨセフのしょうり

しゅはかれのなすことを
さかえさせられた。
そうせいき 39・23



A

B



C

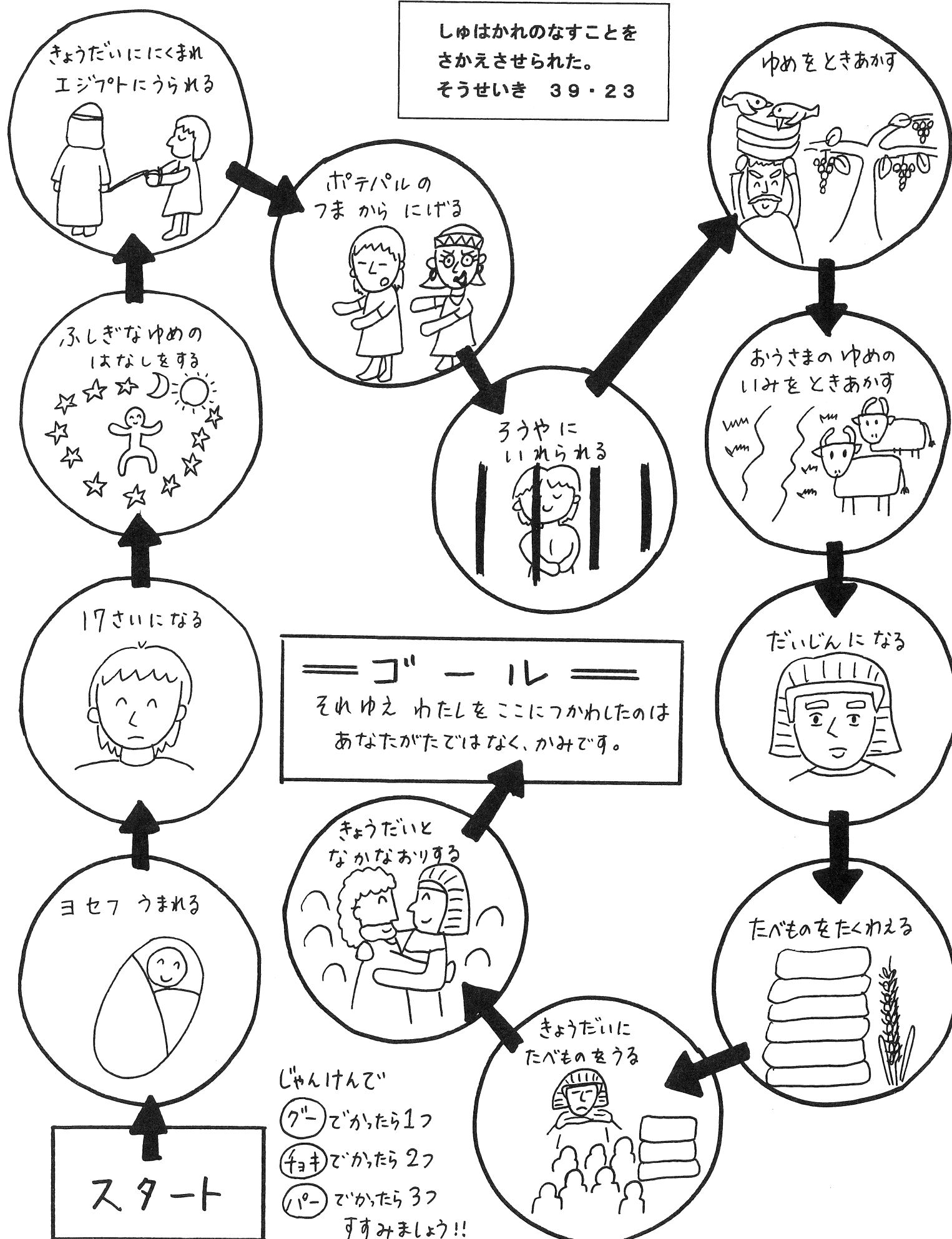


- ① A・B・Cに色をぬりこりこ
- ② CをAの中央部分にはる
- ③ Bをヨセフの口もと近くにはる

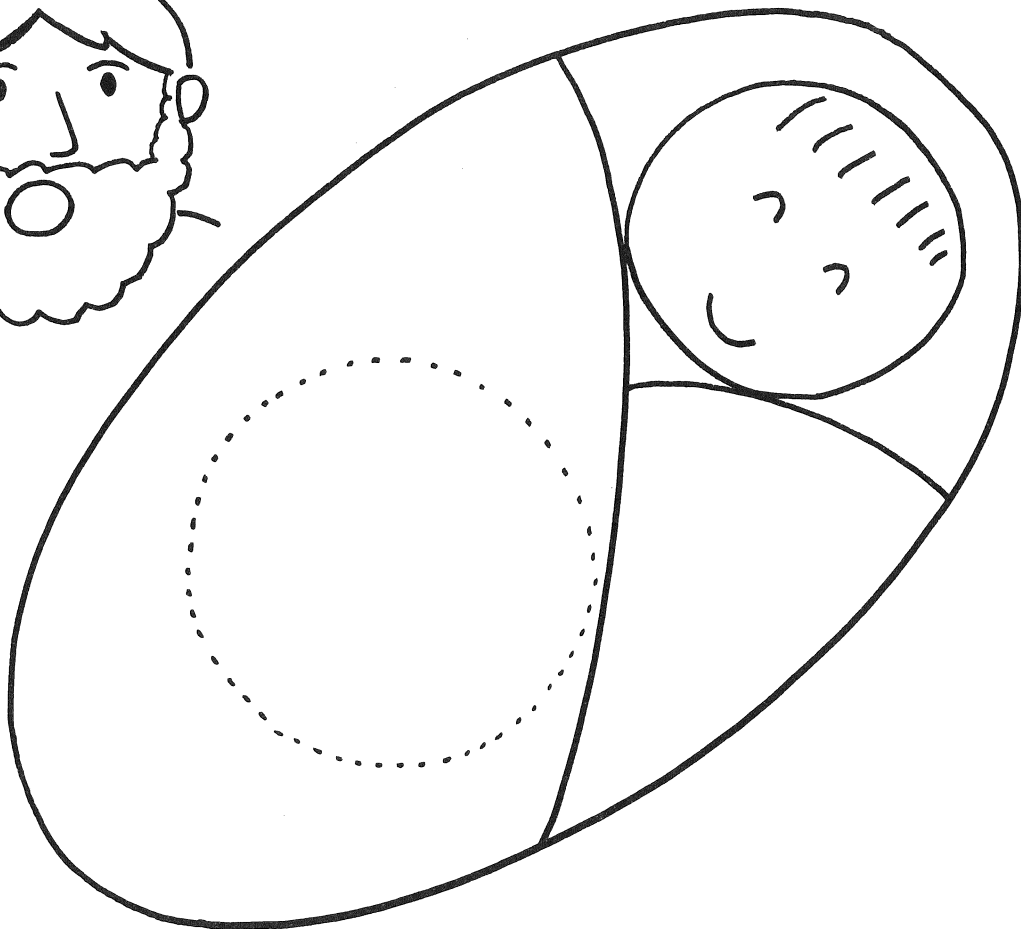
——どんな中にあっても、ヨセフが神様を
信じて おまかせしたことを覚えよう——

—— 切り取り線

A 11/25 せつりしんこう



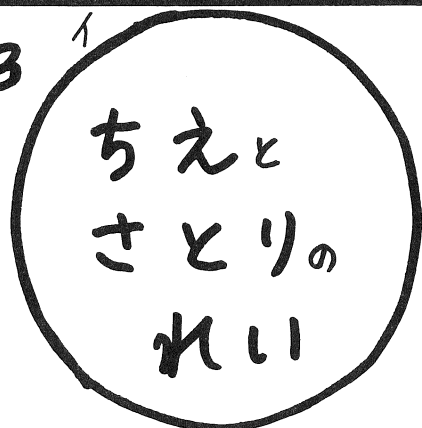
イザヤのよげんした すくいぬし



A

切りとり

B



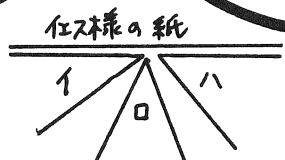
切りとり線

完成図

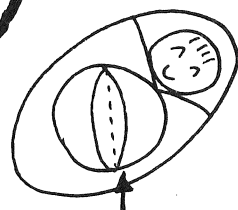
① AとBに好きな色をぬり切りとる

② Bをたて半分に谷折りする

③ Bの3枚を左図のようにはりあわせる



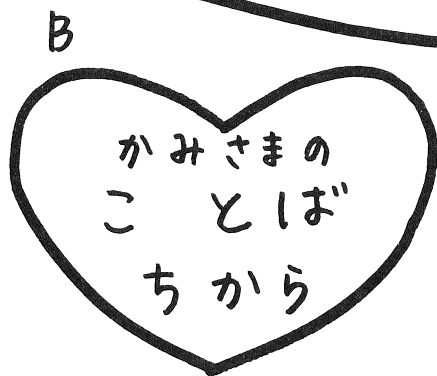
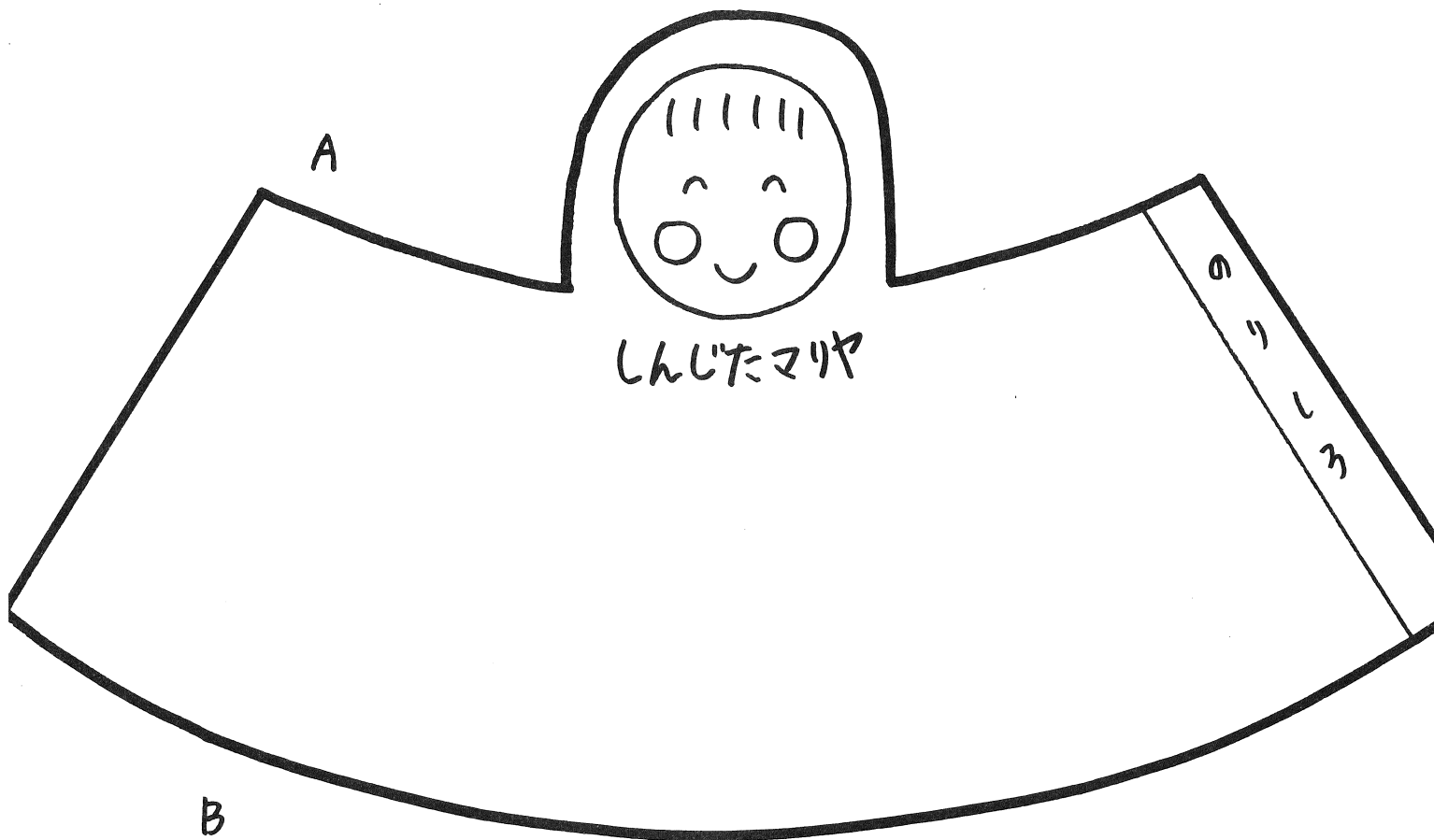
上から見た図



3枚をめくる

A 12/9 マリヤのしんこう

そのなはインマヌエルと
よばれるであろう。
マタイ1・23



- ① A.Bに色をぬり切り取る
- ② Bをマリヤの胸のあたりに貼る
- ③ Aを組み立てる

—— 完成図 ——

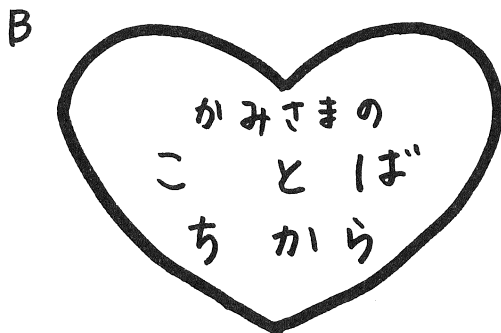
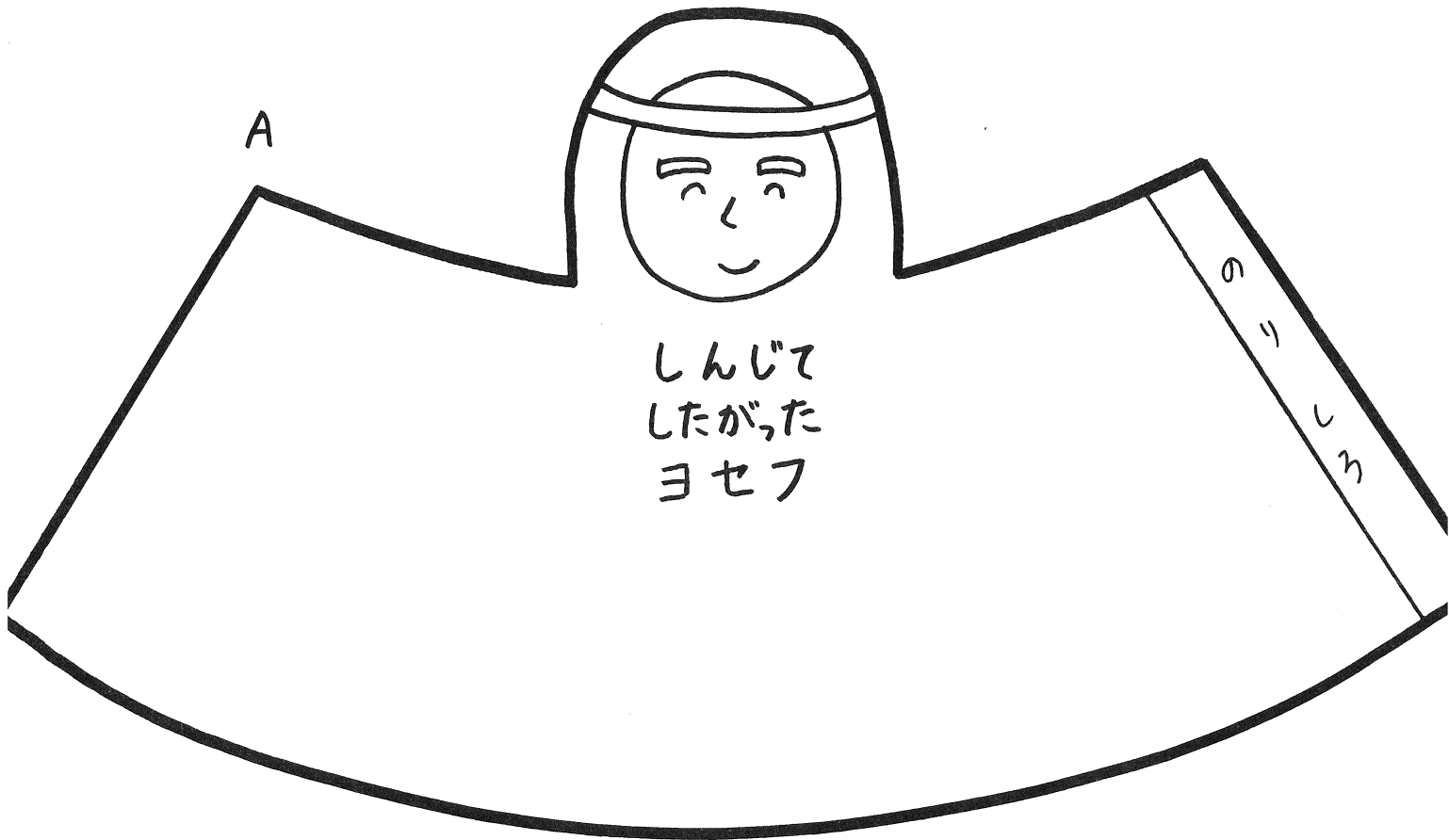
—— 切りとり線 ——



☆ 来週はヨセフさんをつくらせ、パパにするので、マリヤさんを大切に書いておきましょう。

A 12/16 ヨセフのしんこう

そのなはインマヌエルと
よばれるであろう。
マタイ1・23



- ① A, B に色をぬり切りとる
- ② B をヨセフの胸のあたりにはる
- ③ A を組み立てる

—— 完成図 ——

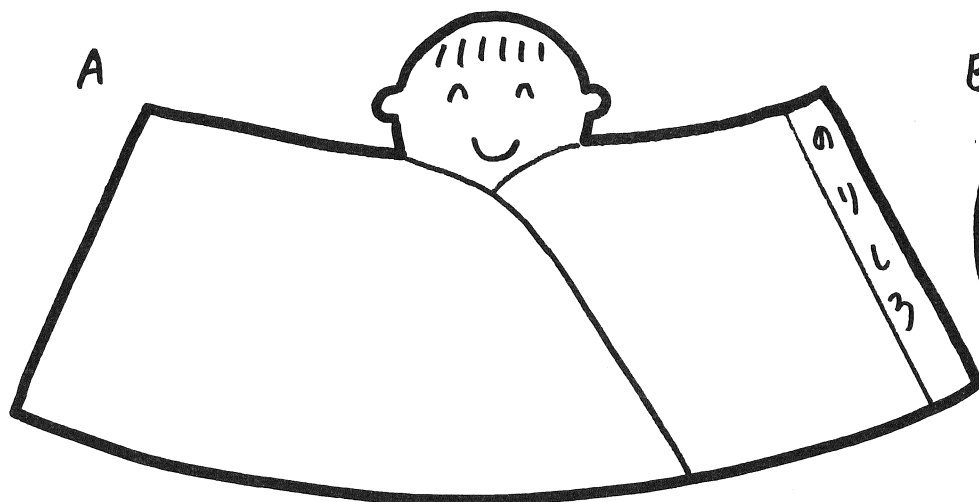
—— 切りとり線



☆ 来週はイエス様をつくるので、マリヤさん、ヨセフさんを大切にしておきましょう。

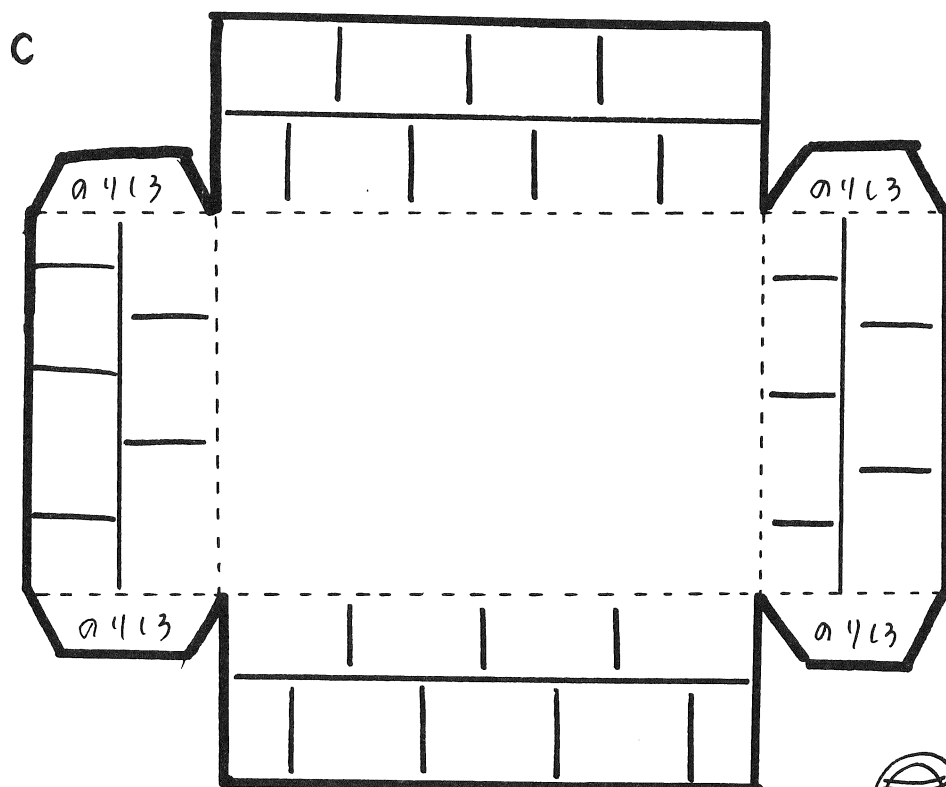
A 12/23 ひとりごへのしんこう

そのなはインマヌエルと
よばれるであろう。
マタイ1・23



B

すくいぬし
イエスさま



—— 切り取り線

----- 山折り線

—— 完成図 ——

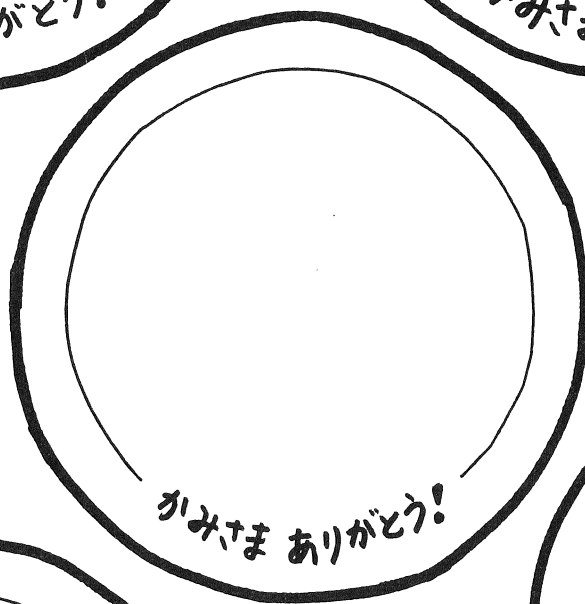
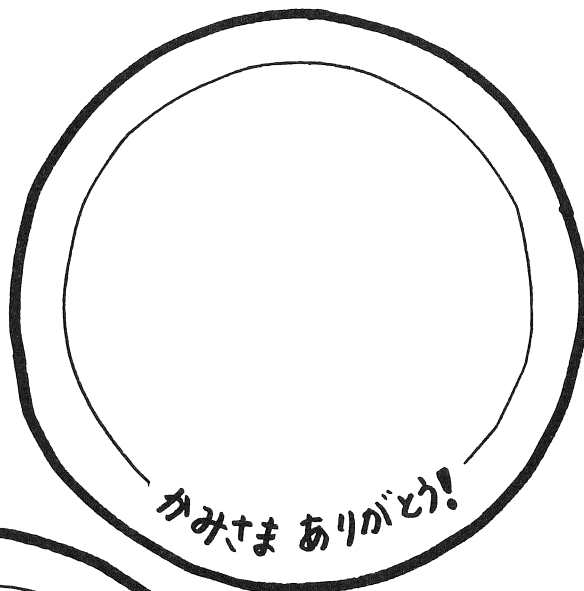
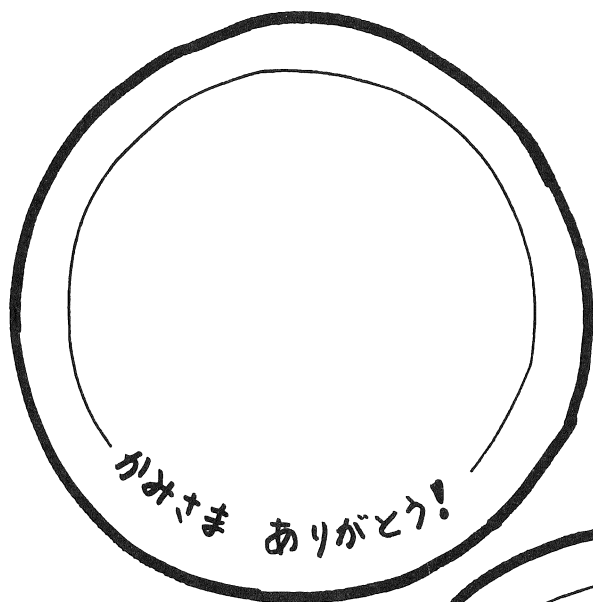
- ① A・B・C に色をぬり切りとる
- ② B を イエス様の胸のあたりに はる
- ③ A を 組み立てる
- ④ C を 組み立てる
- ⑤ 茶や 緑の色紙を細く切り、組み立てたCの中に入れる → (先生方お手伝いしてください)
- ⑥ マリヤさん、ヨセフさん、イエス様を並べる



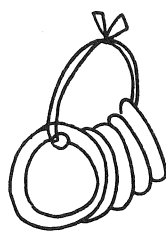
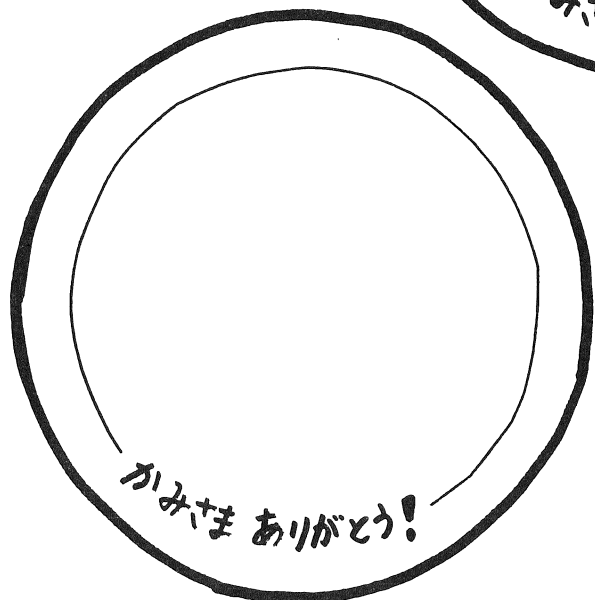
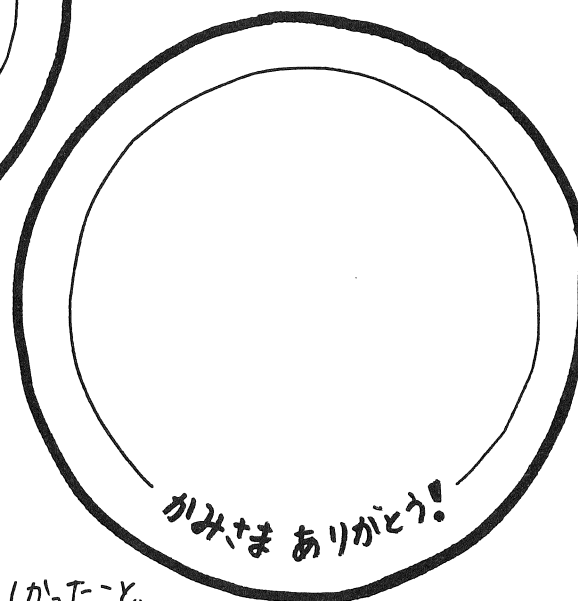
A 12/30 かんしゃのうた

そのなはインマヌエルと
よばれるであろう。
マタイ1・23

かんしゃしよう！



—— 切りとり線



- ① この1年間のうれしかったこと、
たのしかったことを思い出して、○の中に書く(いくつでもOK)
- ② 部分に好きな色をぬり、切りとる
- ③ 穴をあけて ひもに通す
- ④ みんなで集まり、1年間の感謝を發表しよう

ワーク A 解説 10~12月

10/7

●話し方のヒント

神様はアブラムに「わたしが示す地に行きなさい」と言われました。神のご命令には行き先が語られていませんでした。それなのにアブラムは「はい、わかりました」と荷物を持って出発しました。地図も乗り物もありません。この時、アブラムはどんな気持ちだったでしょう。アブラムは神の約束を信じていたので、不安も恐れもなかったことでしょう。歩き続けてカナンに着いた時、神様が現れて「この地を与える」と言われました。アブラムは神様に感謝の礼拝をささげました。神様は真実なお方です。神様を信じて従う者を、神様は祝福してくださいます。

●ワークについて

アブラムは神のご命令に従って出発し、目的地に到着後、祭壇を築いて神様を礼拝したことを覚えましょう。

10/14

●話し方のヒント

神様とアブラムの間に交わされた約束は「わたしはあなたの子孫にこの地を与えます」（12・7）というものでした。しかし、いつまでたってもアブラムとサラの間に子どもは与えられません。神様は約束を忘れてしまったのでしょうか。そんなことはありません。神様はアブラムに声をかけられました。夜空いっぱいの星のように、子孫を与えと言われたのです。アブラムは神様の約束を信じたので、神様はアブラムの信じる心を、とても喜ばれました。神様は私たちの信じる心を見ておられます。

●ワークについて

神の約束を信じることの幸いを確認しましょう。最後の質問は読んであげてください。

10/21

●話し方のヒント

アブラハムに約束された祝福は、信仰を受け継ぐことでイサクにも与えられました。種をまけば百倍もの収穫があり、羊と牛は次々と子どもを産みました。イサクの財産がどんどん増えることをねたんだゲラルの人々は、井戸を埋めて水が使えないようにしました。そればかりでなく新しく井戸を掘っても、掘っても奪われてしまいました。イサクがベエルシバに行った時、神様がイサクに語られました。神の約束を聞いた時、イサクは父アブラハムと同じように祭壇を築き、神様を礼拝しました。神の祝福は、信じる人の家族にまで与えられます。

●ワークについて

何度、井戸を奪われても、父アブラハムの信仰を受け継いだイサクに、祝福があることを確認しましょう。

10/28

●話し方のヒント

イサクにはふたごの息子たちがいました。兄はエサウという名で全身が毛深く、狩りをしていました。弟はヤコブという名で、天幕に住んでいました。この時代、日本と同じように家を継ぐのは長男でしたが、エサウはあまりの空腹のために長男の権利を、ヤコブが作っていたレンズマメのシチューと交換に売ってしまったのです。エサウは大切な権利を粗末に扱ったのです。神様は最初の約束(23節)のように、弟が長男の祝福を受けるようにされました。これは神様の特別な選びです。私たちも神様に選ばれて、神様を知ることができました。神様に選ばれていることを感謝しましょう。

●ワークについて

神に選ばれることの幸いを確認しましょう。エサウとヤコブの特徴を、もう一度教えてあげてください。

11/4

●話し方のヒント

エサウがヤコブを殺そうとしていることを知った母リベカは、ヤコブをラバン叔父さんのところへ行くようにと計画しました。旅の途中、ヤコブが野原で寝っていると夢を見ました。その夢は天に届くはしごがあって、そこを神の使いが上ったり下りたりしているのです。神様は、「わたしはあなたと共にいて、決してあなたを捨てない」と言われました。夢から目覚めたヤコブは、神様が共にいてくださること知りました。ヤコブは心から神様を信じていなかったのですが、この出来事を通して神様を信じることができました。あなたは神様を信じていますか。神様を信じるなら、いつも一緒にいてくださいます。

●ワークについて

ヤコブは夢を通して神が共にいてくださると信じました。あなたはどうですか？

11/11

●話し方のヒント

神様に会ったヤコブは、神様を信じましたが、まだ、自分勝手な考えを持っていました。兄エサウに憎まれていることが心にひっかり、エサウと会うことができなかったのです。エサウと会うため、たくさんの贈り物を用意して、会いに出かけました。しかし、まだ自分のことを憎んでいたりと恐れ、一番先に逃げるができるように準備していたのです。エサウに会う前の晩、ヤコブは天の使いと格闘をしました。勝利したヤコブに、天の使いは「イスラエル」という名前を与えました。いつまでも罪を抱えていると、ヤコブのように人を恐れることになります。全ての罪を神様の前に告白し、「ごめんなさい」と言いましょう。神様は、私たちもヤコブのように神の皇太子としてくださいます。

●ワークについて

ヤコブがイスラエルという名前をいただいたことの意味を確認しましょう。

11/18

●話し方のヒント

皆さんは、自分は悪くないのに、いじめられたり、叱^{しか}られたりして、悲しい気持ちになったことはありませんか？ヨセフは何も悪いことをしていないのに、お兄さんたちに憎まれてエジプトに売られました。エジプトではいじわるな奥さんのうそによって、牢屋^{ろうや}に入れられました。ヨセフは悲しい気持ちになりましたが、神様にお祈りし、必ず神様が助けてくださると信じて、おまかせしました。私たちもヨセフのように、どんな時も、神様を信じておまかせしましょう。

●ワークについて

どんなに悲しい時も、神様を信じてお祈りするなら、神様が守ってくださることを覚えましょう。

11/25

●話し方のヒント

お兄さんたちに憎まれエジプトに売られたヨセフは、悲しい思いをたくさんしましたが、エジプトの国の総理大臣になりました。エジプトのあたり一帯に雨が降らず、食料がなくなった時、ヨセフを売ったお兄さんたちが、ヨセフの所に食料を買いに来ました。ヨセフは仕返しをするのではなく、「私はお兄さんたちを憎んでいません。神様が、お兄さんたちを助けるために、私をエジプトに導かれたのです」と言って、お兄さんたちに会えたことを喜びました。ヨセフは、どんな時も神様を信じていくな、神様が、どんな辛^{つら}いこともすばらしいことに変えてくださることを学びました。

●ワークについて

ヨセフの生涯をたどりながら、神様が苦しみを喜びに変えてくださったことを覚えましょう。

12/2

●話し方のヒント

イザヤという預言者は、神様からお言葉を聞いて、人々に伝える人でした。イザヤは「神様の霊に満たされた、救い主が生まれます」と語り、それから約750年後、救い主イエス様がお生まれになりました。イエス様は、神の霊に満たされて、神の知恵・神の全能の力があり、神様を一番大切にしてお方でした。私たちもこの救い主イエス様を信じて、神の霊に満たされ、神様の知恵と力をいただき、神様を大切にする心で歩ませていただきます。

●ワークについて

イエス様には神様の霊が宿っていました。どんな霊でしょうか。Bの言葉の意味を簡単に説明しましょう。

12/9

●話し方のヒント

イザヤが預言した、救い主イエス様のお母さんのマリヤは、神様を心から信じる人でした。み使いがマリヤの所に行き、「あなたは男の子を産むでしょう」と言った時、マリヤは驚き、恐れる気持ちでいっぱいでしたが、何でもできる神の力とお言葉を信じました。そのマリヤから、イエス様はお生まれになりました。マリヤは、救い主イエス様のお母さんになるという、とても大切な、神様のための仕事をしましたのです。私たちも、何でもできる神の力と、お言葉を信じて、神様のお働きに用いていただきます。

●ワークについて

イエス様は、どんなお母さんからお生まれになったのか、思い出しながら作りましょう。

12/16

●話し方のヒント

救い主イエス様のお父さんのヨセフは、神様を心から信じる正しい人で、まだ結婚していないのに、婚約者のマリヤに子どもが与えられたことを知って、とても苦しみました。そんなヨセフに、み使いが語りかけました。「神の力によって、マリヤに子どもが与えられました。その赤ちゃんは、救い主です。心配しないで、マリヤと結婚しなさい」。ヨセフは、何でもできる神様の力と、お言葉を信じて、神様の言われたとおり、マリヤと結婚しました。私たちも、ヨセフのように、神の力とお言葉を信じ従って、神様に喜ばれる者となりましょう。

●ワークについて

イエス様は、どんなお父さんからお生まれになったのか、思い出しながら作りましょう。

12/23

●話し方のヒント

クリスマスは何の日か知っていますか？神様が、私たちに、素晴らしい愛のプレゼントである「イエス様」をくださった日です。イエス様は、ひとりの赤ちゃんとしてお生まれになりましたが、それは罪のために、神様から永遠に見捨てられる私たち人間を救うためでした。神であるイエス様が、人間の姿でお生まれになり、私たちの罪の身代わりとして、十字架にかけられて死なれ、よみがえられたので、イエス様を信じる私たちは救われたのです。神様からの愛のプレゼントであるイエス様を信じて、永遠の命をいただきましょう。

●ワークについて

イエス様を作り、マリヤ、ヨセフと共に飾りましょう。

12/30

●話し方のヒント

私たちはなぜ、教会に来て神様を礼拝し、賛美し、祈るのか、知っていますか？それは、目に見えないけれど、今も生きておられる、全てのものを造り、私たち人間も造ってくださった神様が、私たちの礼拝と賛美と祈りを喜んでくださるからです。神様は、私たちを心から愛し、必要な物を与え、身体も心も元気になってくださり、いつも危険なことから守ってくださいます。私たちは、その神様に、感謝して、礼拝と賛美と祈りをおさげするのです。この一年間、神様は皆さんに、どんな良いことをしてくださったかを思い出し、「ありがとう」の気持ちで、神様に礼拝と賛美と祈りをおさげしましょう。

●ワークについて

一年の感謝をたくさん書いて、みんなで発表しましょう。